



## 特別管理産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 茨城県鹿嶋市光3番地

氏 名 ASRリサイクリング鹿島株式会社

代表取締役 岡田 孝順

電話番号 0299-84-2061

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ASRリサイクリング鹿島株式会社
事業場の所在地	茨城県鹿嶋市光3番地
計画期間	令和7年4月～令和8年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	産業廃棄物処分業、一般廃棄物処分業
②事業の規模	1,081百万円
③従業員数	40人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

## 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)

特別管理産業廃棄物管理責任者

特別管理産業廃棄物処理施設技術管理者

処理管理担当者

マニフェスト管理担当者

1. 特別管理産業廃棄物の排出状況の把握
2. 特別管理産業廃棄物の処理計画の立案
3. 適正な処理の確保
4. 分別、保管状況の確認
5. 適正な委託の実施
6. 管理票の交付・保管

・分別・保管状況の管理

・マニフェスト交付・進捗・処理終了の管理と保管

・発生・運搬及び適正な委託処理状況の管理

## 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（有害）	
	排 出 量	2,784 t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（有害）	
	排 出 量	2,879 t	t
	（今後実施する予定の取組）		
	別紙2 参照		

## 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和    6 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（有害）	
	全処理委託量	2,784 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,784 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	ばいじん（有害）	
	全処理委託量	2,879 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2,879 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙2 参照		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

【別紙2】

2025 年度

特別管理産業廃棄物の排出抑制

廃棄物 トン 当りのばいじん発生原単位を削減するため  
「ガス化溶融炉の操業安定化」と  
「炉内での廃棄物粉のガス化促進対策」  
を講ずることにより

2024年度発生原単位

125 wet-kg/廃棄物 t

2784 wet-t/年 飛灰  
22242 t/年 廃棄物

2025年度発生原単位

120 wet-kg/廃棄物 t

を目標とする。

< 参考 >

2024年度

2025年度

廃棄物量	22,242	廃棄物 t
ばいじん量	2,784	wet-t
発生原単位	125	wet-kg/廃棄物 t

23,994	23,994	廃棄物 t
2,999	2,879	wet-t
125	120	wet-kg/廃棄物 t



発生原単位が減少することで  
発生ばいじん量(wet-t/年)は  
120 wet-t/年 削減